

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	産業建設常任委員会		会議場所 第2委員会室 担当職員 三宅
日 時	平成26年9月30日(火曜日)		開 議 午前 10 時 11 分
			閉 議 午前 10 時 30 分
出席委員	齊藤 中澤 福井 馬場 小島 菱田 日高 湊		
出席理事者			
出席事務局	三宅主任		
傍聴者	市民 名	報道関係者 名	議員1名(西村)

会 議 の 概 要

10:11

(決算分科会終了後)

1 開議

2 意見書案について

< 齊藤委員長 >

前回に引き続き、意見書案の協議を行う。菱田委員からは馬場委員の原案に対する修正案を提案された。意見を。

(意見書案配付)

< 中澤副委員長 >

3点、意見がある。

1点目、菱田委員の案では、米の過剰感という表現に留めたものであるが、やはり需給調整のアンバランスは大きな要因であろうことから、そのことについては、少し明確に指摘したほうがよく、馬場委員提案のとおり、「政府の責任で需給の調整を行う必要がある、緊急に過剰米処理を実施すること」を加えた方がよいと考える。

2点目、「米の再生産への意欲の減退を招き」については、馬場委員提案のとおり「再生産が根底から脅かされることになり、とりわけ担い手層の経営の打撃は計り知れない」と厳しい表現にし、問題点を明確にした方がよいのではと考える。

3点目、具体的な要望項目について、2の飼料用米の生産についての事項を削除してでも、適正な過剰米処理を講じる旨の事項を加えたほうがよいように考える。

< 馬場委員 >

私としては、菱田委員の修正案の趣旨でよいように考えているが、2点申し上げる。

1点目、「全国的に米価の暴落が懸念されている」という表現について、「米価の大暴落」とすべき。

2点目、国営ほ場整備の推進による農業生産に関して「大規模な農地で」という部分は削除した方がよい。

< 中澤副委員長 >

馬場委員の意見として、需給調整、過剰米処理等に踏み込まない趣旨で済むのであれば、それでよい。

< 菱田委員 >

「大規模な農地で」を削る程度なら問題ない。

< 湊委員 >

馬場委員の1点目、米の大暴落に関して、「米生産農家への概算払い金も過去最低の水準となる中、」とある以上、既に米価は下がっており、「全国的に米価の暴落が懸念されている」という記述は必要ないものとする。懸念されているところの話ではない。「過去最低の水準となっている。」に留めるべき。

< 齊藤委員長 >

今の意見を踏まえて修正を行いたい。

< 福井委員 >

国営ほ場整備の推進に関わり、「大規模な農地」はそのままでもよいとする。ただし、「大規模な農地で米を中心とした農業生産が行われつつ水田農業が営まれる中で、アユモドキを」の中で、「行われつつ」がわかりにくい。

< 菱田委員 >

ほ場整備とアユモドキの保全是別の問題であり、一方で、水田農業とアユモドキの保全是つながっているという趣旨で「行われつつ」としたものである。「行われつつ、」と読点を打てばどうか。

< 齊藤委員長 >

以上の意見を踏まえて、文言等の整理を行い、委員会発議として取り扱うことで異議はないか。(修正箇所確認) <了>

~ 散会 10:30